

1. 年度輸出、目標に達せず → ルックイースト

小島正憲

政府の貿易促進組織は、「バングラデシュの輸出は、主要な欧米市場の衣類への需要が衰え、6月の会計年度に243億ドルに5.9%上昇したが、国の目的には達しなかった」と述べた。年間合計額は、当初の予定の265億ドルのターゲットには及ばず、8.4パーセント下落した。「世界的な経済の弱体化を考えると我々の成長はよいものと考えられる」と、シュバシシュ・ボーズ輸出振興局長は述べている。7月1日から始まる新しい会計年度に、政府は、日本・中国・インド・ロシア・ブラジル・南アフリカなどの新市場への多角化を目指すとして、輸出目標額を280億ドルと設定した。サイドスルール・イスラム、バングラデシュ・マレーシア商工会議所会長は、「最近、バングラデシュの経済と輸出は、中国から低コストのバングラデシュへのグローバルな衣服の受注の劇的なシフトが後押ししている。バングラデシュの低人件費は、テスコ、JCペニー、ウォルマート、H&M、コールズ、マークス&スペンサーやカルフルなどの国際ブランドの衣服を製造し、それがローエンドの衣類の世界的な供給チェーンに参加し貢献してきた。海外で働くバングラデシュからの国への送金とともに、衣料品輸出は経済の最も重要な騎手の一つである。ビジネスリーダーたちは、鍵である西の市場からの低調の需要を補うために、中国・日本・マレーシアなど東の国にフォーカスを移す必要がある。我々は、巨大な市場シェアをつかむために、これらの国への輸出を増加させる強力な努力をしなければならない。マレーシアでバングラデシュの製品を促進するために、ショーケースバングラデシュ2012がクアラルンプールで7月13日から7月15日の間に開催する。ガスや電気の不足を含むインフラのボトルネックを解決することができれば、年間の輸出は、今後2年間で300億ドルに達する可能性がある」と、語った。しかし、賃金と不安定な政治情勢上の頻繁な労働争議など他の要因が貧しい国の輸出の伸びを傷つける可能性がある。

2. 既製服のマレーシア市場への輸出が浮上する可能性あり

「現地の輸入業者のおかげで、2年以内にマレーシアは10億ドル相当の既製服(RMG)のバングラデシュからの輸出市場として浮上すると予想される。我々のライバル国が徐々にこのような品目を輸出する競争力を失ってきているので、マレーシアへのバングラデシュからの既製服輸出の巨大な可能性がある」と、ウエルグループの会長: サイド・スルール・イスラムが語った。バングラデシュは後発発展途上国(LDC)の条件の下でマレーシアへの輸出に、20%特恵関税の免除を享受している。

3. 中国の衣料品通販最大手、バングラデシュから商品調達

中国の衣料品通販最大手の「凡客」(北京市)は、バングラデシュの縫製工場からの商品調達を本格化させている。同社の試算では、バングラデシュ商品は輸送費や関税込みでも、中国の国内調達よりも5~10%、コストが削減できるという。年内にワイシャツ10万枚とカジュアルパンツ4万枚を輸入する。

4. 2011~12年会計年度、大規模な投資ブーム到来

2011~12年の会計年度に、国内および海外からの投資申し込みは25%前後上昇し、大規模なブームが到来していることが、公式データで確認された。この金額のうち、EPZにある405ほどの既存および新規の企業はあわせて3億3926万ドルを投資している。54の他の国内および国外投資家がBEPZA(バングラデシュ輸出加工ゾーンオーソリティー)と6.4億ドルの投資のリース契約を締結した。「申し込まれた投資のうち、海外からかなりの数のハイテク投資家たちがバングラデシュへの投資に関心を示している。バングラデシュにハイテク投資家たちが殺到すれば国の将来にとって大きな後押しになることができる」と、投資委員会の関係者が語った。

5. 基本既製服(RMG)輸出の将来

「基本的な服装の輸出は、将来も重要であり続けるだろうが、アジア地域でのバングラデシュの競争優位性は時間の経過とともに侵食されていくだろう」と、世界銀行は研究報告をした。この研究報告では、「輸出を促進するために、基本既製服の強みを足場に、価値の高い衣類やサービス部門などの他の製品に多様化すること」を、提言している。さらにこの報告では、「貿易物流と労働者の技能を向上させ、労働基準の遵守」を強調し、「将来的にはもっとグローバルな競争になるため、基本的な製品を卒業しハイエンドの衣服アイテムに切り替えるよう」に提案している。業界のリーダーによると、基本的な衣服は、国家全体の衣服輸出の75パーセントを占めている。またバングラデシュでは、衣服製品を180億ドル相当の年間輸出している。国際的に許容可能な労働基準の遵守は、バングラデシュからの衣料品輸出の主要市場米国およびEUにおける消費者のためにますます重要になっている。バングラデシュは、衣服の輸出に多くのチャンスを持っているが、国は早急に労働基準の施行を必要とする。「衣類部門のバングラデシュの現在のコストの優位性は、国のバリューチェーンが移動すると、グローバルに競争に勝ち抜くには十分でないかもしれない」と、世界銀行バングラデシュのリード国内経済学者であり報告書の共同執筆者サンジャイ・クスリアは述べている。

6. パドマ多目的ブリッジ関連ニュース

①世界銀行、パドマ多目的ブリッジプロジェクトのクレジットをキャンセル

世界銀行は、カナダの会社のバングラデシュ人の役員幹部や個人が関与する汚職事件の証拠を握っているとして、即座にパドマブリッジプロジェクトの12億ドルのクレジットをキャンセルした。「われわれはバングラデシュ政府高官とSNCラバリン幹部そして個人の間で、多目的パドマブリッジプロジェクトに関係した汚職陰謀を、ハイレベル腐敗と指摘できるさまざまな出所の裏づけがある確かな証拠を握っている」、と世界銀行は金曜日に声明した。それに対して財務大臣AMAムヒスは、「世界銀行の声明はまったく受け入れられない。プロジェクトでの汚職疑惑がないことが証明される前に世界銀行がパドマブリッジ契約をキャンセルしたのは残念である」との声明を出した。バングラデシュの著名なエコノミストのワヒウディンは、「汚職疑惑のため、世界銀行がパドマブリッジプロジェクトへの資金融資をキャンセルしたことは、世界中のドナーの認識にマイナスの影響を与えるであろう」と語っている。27年以上国際通貨基金(IMF)に勤めてきたアサンは、「このような大きなプロジェクトの資金調達に伴うコストとリスクは、外国の投資家と交渉できる条件に大きく左右されるので、政府は交渉に当たって十分注意するべきだ」と話した。政策対話センター(CPD)幹部のムスタフズール・ラハマン教授は、「パドマブリッジプロジェクトの資金融資がキャンセルされたことは、世界銀行と将来かかわりあうことに関して影響を与えるとは思わない。またこのプロジェクトは国内国外の投資家にとってやはり魅力的なものである」と語っている。

②「パドマブリッジは独自資金で建設」—シェイク・ハシナ首相発言

シェイク・ハシナ首相は国会で、「政府が独自の資金でパドマブリッジを構築し、建設工事は今年度から始め、2015-16年には終了する」と発表した。ハシナ首相の発表は、賄賂陰謀を理由にした世界銀行のブリッジプロジェクトからの撤退声明の9日後に行われた。ハシナ首相はまた、アジア開発銀行、イスラム開発銀行およびJICAを含むその他の金融機関が、パドマブリッジプロジェクトのために資金を提供しないことを非難した。さらに「プロジェクトの完了には、現在の会計年度で319.7億タカ、2013年から14年は786.8億タカ、2014年から15年は378.5億タカが必要とされている」と語り、「パドマブリッジ建設コストの内訳は1兆5億タカが、橋の主な建設に当てられ、リバー・トレーニングのために720億、ジャジラアプローチ道路の建設のために128.1億、マワアプローチ道路の建設のために31億タカ当てられる」と話した。アブドゥル・ハミドは、「政府が一通話ごと25パイサ税がパドマ橋のための資金を集めるために課す」かもしれないと話している。

③JICA パドマブリッジ「収賄」に対する政府アクションを要求

「バングラデシュ政府は、パドマブリッジプロジェクトに関連する“収賄の問題”に対処するために建設的な措置をとるべきである」と、日本国際協力機構(JICA)ダッカの代表が語った。「JICAは真剣に収賄の問題を考慮し、今後のアク

ションを日本政府と協議している」と、富山圭 JICA シニア代表が、ハリプール 412 メガワット (MW) ナラヤンガンジの発電所プロジェクトサイトでのメディアブリーフィングで語った。JICA は、ハリプール 412 MW の発電所プロジェクトの建設のための 350 億タカの資金のうち 71% を提供している。

④政府、パドマブリッジの開発資金援助を3金融機関に要請

「政府は問題を抱えたパドマブリッジプロジェクトの資金調達を調整するためのコンソーシアムを形成するために、3 つの開発金融機関に手紙を送った」と、関係者は語った。財務大臣 AMA ムヒスは、「プロジェクトのシンジケーションローンを調整することを要求して、マニラベースのアジア開発銀行 (ADB)、日本国際協力機構 (JICA) とイスラム開発銀行 (IDB) のトップに手紙を送った」と、財務省当局者は、ファイナンシャルエクスプレスに語った。

7. バングラデシュ銀行の金融引き締めで、輸入支払いが減少

国全体の輸入支払額の伸び率が、食糧穀物と贅沢品の輸入が少なかったために、今会計年度の最初の 11 ヶ月間で大幅に下落した。輸入の伸び率は中央銀行の統計によると、前年同期の 40.54% から、10.93% に下がった。「全体的に輸入の伸びは食糧穀物、特に高額贅沢品の輸入の減少のため低下している」と、バングラデシュ銀行高官は語った。中央銀行関係者は、「銀行が最近のバングラデシュ銀行の継続的な“控えめ”な金融政策に沿って必需品ではない高級品の輸入のために、新しい LC の開設を奨励せず、全体としての輸入の伸びはここ数カ月の間に落ちた」と語った。米などの穀物の輸入は、LC から見ると、54.16 パーセントのマイナス成長となっており、輸入総額は前年度の同じ時期の 18.21 億ドルから 8 億 3493 万ドルに下落した。一方、「国内の需要に見合わせ工業原料や必要な機械を含む他の必需品の輸入は増加している。」とバングラデシュ銀行 (BB) の関係者は語った。

8. 輸出入業者登録および更新料、倍に

商務省では政府の財政収入を増やすための入札で、輸出入業者の登録および更新料の倍増を提案している。新しい政策では年間輸入最小限額は 10 万タカから 50 万タカに引き上げられた。輸入最小限額に対応して登録および手数料もそれぞれこれまでの 3000 タカと 1700 タカからそれぞれ 5000 タカおよび 3000 タカに設定された。年間 1 千万タカ以上の輸入に対して最近まで支払われていた登録および更新料はそれぞれ 2,3000 タカおよび 17,000 タカであったが、申請された政策では年間 5 千万タカを超える輸入に対してそれぞれ 6 万タカおよび 3 万タカとなっている。インデントに対する登録料金は 45% 値上がりして 4 万タカとなり、更新料金は 48% 値上がりして 2 万タカとなった。なお輸入禁止品目に、古いコンピュータ、古いコンピュータの付属品、古い電子機器、工業汚泥肥料及び汚泥と生産品目のすべてが追加された。

9. 新油田発見

国営バングラデシュ石油探査生産会社 (Bapex) はコミラ地区、炭化水素鉱床の豊富な地域スリカリで新しいガス田の発見を発表した。ガス不足のため何百という産業用ユニットが閉められたままか、インストールされた容量以下のガスで動いている。政府は天然ガスが主成分であるガスベースの発電所が稼働し続けるために、尿素肥料工場の生産停止を余儀なくした。自給できるパワーとエネルギー分野に関連する政府の計画やプログラムは、経済的苦境を引き起こす責任要因のリストの最上部に配置されているのに政府は楽観視していた。海陸でガス田のより多くの発見を介してガス供給状況が改善できれば、発電用燃料としてガスは安いしクリーンなので、間違いなく電源の状況を和らげるのに役立つだろう。

以上